

福島第一原子力発電所の状況

2015年5月28日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (5/28 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.0 m ³ /h	21.7	0.5 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.2 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.5 m ³ /h	28.5	3.39 kPa g	A系： 0.02 vol%
		給水系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約2.3 m ³ /h	25.3	0.24 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.1 m ³ /h			B系： 0.04 vol%

<2. 使用済燃料プールの状況> (5/28 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.5 °C
2号機	循環冷却システム	停止中	26.4 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.9 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.7 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘッドラジンの注入を適宜実施。

【2号機】・5/26 6:02 使用済燃料プール代替冷却系については、当該冷却系の計装品点検を行うため停止。冷却停止時のプール水温度は21.9°C。

5/28 11:54 点検が終了したことから代替冷却系を起動し、起動状態に異常がないことを確認。起動時のプール水温度は26.5°Cであり、運転上の制限値65°Cに対して余裕があり、使用済燃料プール水温度の管理上問題ない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/26 11:11 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/26 11:20 ~ 移送実施中

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (5/28 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- 2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- 2015/5/27～ 福島第一原子力発電所構内で設置している今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。
- 2015/2/12 2号機原子炉建屋西側サブドレンピット No.18、No.19 の一時的なセシウム濃度の上昇原因と推定されたサブドレンピット No.15、No.16(サブドレン浄化施設によるくみ上げ対象外)の水質を改善するためのくみ上げを実施。その結果、当初想定していたよりもサブドレンピットの水位が低かったため、2/13 からの汲み上げ作業はいったん中止し、今後の作業工程について再検討することとした。なお、サブドレンピット No.18、No.19 の濃度上昇の対策として、サブドレンピット No.17 を閉塞済み。

5/22～5/24 その後、サブドレンピット No.16 の近傍建屋である2号機増設廃棄物地下貯蔵建屋からの滞留水移送を行い、建屋と当該ピットの水位差を十分確保できたことから、当該ピットからのくみ上げを実施(約 20m³)。当該ピットにて 5/25 に採取した水の分析の結果、放射能濃度の低減を確認。今後、継続的に状況を確認していく。

<分析結果>

[採取日]	2014/10/29	2015/5/25
[セシウム 134]	850,000Bq/L	83,000 Bq/L
[セシウム 137]	2,900,000 Bq/L	340,000 Bq/L
[全ベータ]	3,200,000 Bq/L	390,000 Bq/L
[トリチウム]	84,000 Bq/L	4,100 Bq/L

- 5/27 14:17 頃 構内の車両スクリーニング場に設置されているノッチタンクのフランジ部2箇所より、水の滴下があることを協力企業作業員が発見。水の滴下は、1秒に1滴と10秒に1滴程度で、滴下した水は堰内に留まっており、堰外への流出はない。その後、滴下箇所をビニール袋で養生するとともに堰内に容器を設置しており、今後、準備が整い次第、当該タンク内の水を別のタンクに移送を行う予定。なお、当該ノッチタンクには、Jヴィレッジにおいて車両の洗浄に使用した水を保管している。

<当該タンク内の水の分析結果>

セシウム 134:検出限界値未満(検出限界値:14Bq/L)
セシウム 137:検出限界値未満(検出限界値:22Bq/L)
全ベータ放射能:14Bq/L

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。
- 屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を5/26頃から開始することとしていたが、原子炉建屋3階機器ハッチ開口部に設置したバルーン*が、所定の位置に設置されていないことが確認され、復旧に時間を要することから、屋根パネルの取り外し作業を延期する。なお、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動は確認されていない。
*建屋カバー解体作業に伴う放射性物質放出抑制対策として、開口部の面積を小さくすることで放射性物質の放出量を抑える(少なく)することを目的に設置。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】•2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
5/27 立坑A、Dについて充填完了。
- 【3号機】•2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
- 【4号機】•2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上